

【2023 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科・福祉心理学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等	
ソーシャルワークの理論と方法 (専門) B		選択	2	2	後期	
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー			
宮澤 江梨子	講師控室	kyoumu	随時メールにて質問等受付			
授業の目的・概要	<p><目的> 「ソーシャルワークの理論と方法 (専門) A」の内容を踏まえた上で、精神保健福祉分野の組織としての動きや多職種によるチームアプローチ、支援の連続性や重層性について理解し、実践するために必要な知識を身につけることを目的とする。</p> <p><概要> 教科書に沿って解説をし、適宜、事例や時事問題を用いたディスカッションやグループワークを取り入れながら精神保健福祉分野のソーシャルワーク実践について理解を深める。</p>					
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・デベイト <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> その他 ()					
学習上の助言	「ソーシャルワークの理論と方法 a, b」及び「ソーシャルワークの理論と方法 (専門) A」の内容が理解できていることを前提に講義を進めるため、復習をしてから講義に参加することが望ましい。					
教科書	最新 精神保健福祉士養成講座 6 ソーシャルワークの理論と方法 [精神専門] /編:一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟/中央法規出版					
参考書	なし					
外部教材	なし					
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針		
①	精神保健福祉分野におけるソーシャルアクションの意義と基本視点を説明できる。			HSU(1)~(3)、HC(2)、(3)、(5)		
②	チームアプローチの意義を理解しチームにおける精神保健福祉士の役割を説明できる。			HSU(1)~(3)、HC(2)、(3)、(5)		
③	ソーシャルアドミネストレーションについて説明できる。			HSU(2)、(3)、HC(2)、(3)、(5)		
④	教育・産業・司法・災害の各分野における精神保健福祉士の実践について説明できる。			HSU(2)、(3)、HC(2)、(3)、(5)		
⑤						
⑥						
授 業 計 画						
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)			
1	オリエンテーション: 講義概要、進め方、評価方法等を理解する。	講義	「ソーシャルワークの理論と方法(専門)A」の復習を行う。		6	
2	<第5章 ソーシャルアクションへの展開> ソーシャルアクションの基本的視点について学習する。	講義 ディスカッション	教科書と配布資料を使用して復習し、次回講義範囲の教科書を読む。		4	
3	個別支援からソーシャルアクションへの発展過程を学習する。	講義 ディスカッション			4	
4	精神障害者の地域移行・地域定着に関わる事例から、ソーシャルアクションの展開について学習する。	講義 グループワーク			4	
5	<第6章 多職種・多機関連携 (チームアプローチ)> 連携の意義と留意点について学習する。	講義 ディスカッション			4	
6	チームビルディングとファシリテーターについて学習する。	講義 ディスカッション			4	
7	チームにおける3つのモデルとその特徴について学習する。	講義 ディスカッション			4	
8	連携における精神保健福祉士の役割について学習する。	講義 ディスカッション			4	
9	チームアプローチの実際について事例から理解を深める。	講義 グループワーク			4	
10	<第7章 ソーシャルアドミネストレーションの概念と意義> ソーシャルアドミネストレーションの概念を学習する。	講義			4	
11	精神保健福祉分野におけるソーシャルアドミネストレーションの展開方法について学習する。	講義 ディスカッション			4	
12	人材確保の方策と人材育成及び資質向上の重要性を学習する。	講義 ディスカッション			4	
13	<第8章 関連分野における精神保健福祉士の実践展開> 学校・教育及び産業分野の精神保健福祉士の役割を学習する。	講義 ディスカッション			4	
14	司法及び災害分野のソーシャルワーク実践について学習する。	講義 ディスカッション			4	
15	全体のまとめと振り返りを行う。	講義			講義全体の振り返りを行う。	2
試	定期試験 達成度評価・評価のポイント参照。					

【2023 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科・福祉心理学科】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計	
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他		
		50	0	0	0	50	100	
総合 力 指 標	知識・技術力	30	0	0	0	0	30	
	思考・推論・創造する力	20	0	0	0	10	30	
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	10	10	
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0	
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0	
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	20	20	
問題を発見・解決する力		0	0	0	0	10	10	
評価のポイント						フィードバックの方法		
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点						
試験	①	✓	筆記試験で実施する。(50点満点) 授業で取り扱った内容から、知識の定着及び理解度について問う。 試験範囲については、講義内で説明を行う。				Microsoft Teams を使用し、 フィードバックを行う。	
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
	⑤							
	⑥							
レポート	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
成果発表	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
ポートフォリオ	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
その他	①	✓	毎回の講義終了後に提出するリアクションペーパー (30点) と授業 への参加態度・意欲 (20点) で評価を行う。				リアクションペーパーについ ては、次の講義の始めにフィ ードバックを行う。	
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
	⑤							
	⑥							
備 考								
他 担 当 教 員	なし。							
教員の実務経験								
実践的授業の内容								
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ・精神保健福祉士国家試験受験資格取得の希望者は必ず履修すること。 ・大学が公表している感染症対策および教員が示す授業方法を遵守することとし、守れない場合には授業への参加を認めない場合があります。 ・講義への意欲がみられない場合や他の学生の迷惑となる行為が見受けられた場合は退室を指示する場合があります。 ・今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によってシラバス変更の可能性もあります。 							